

関東地方の概要

関東地方の動向と課題

我が国の政治・経済・文化の中心としての関東

- ・国土の13.5%の面積に全人口の34%が集中している
- ・全国の約4割の高い生産性と約5割の貿易額を有する

大規模災害への対応強化が望まれる関東

- ・地域別水害被害額の全国シェアは約15%で、九州・沖縄地方に次いで高い

全国に比べて急激に高齢化の進展が予測される関東

- ・今後15年間の高齢者数の推定増加率は全国平均(1.55倍)を上回っている(1.75倍)

環境への対応が望まれている関東

- ・水質汚濁、大気汚染等への対応や自然環境の保全・再生等が急務となっている

多様な余暇・文化施設を有し、自己実現の機会に満ちた関東

- ・若年層(15~29歳)の我が国に占める割合は36.1%と最も高く、

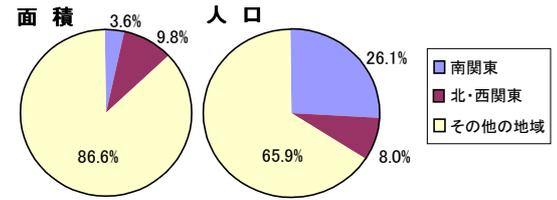
次世代を担う人材の育成が期待される

北・西関東地方は、自立的発展を目指す地域

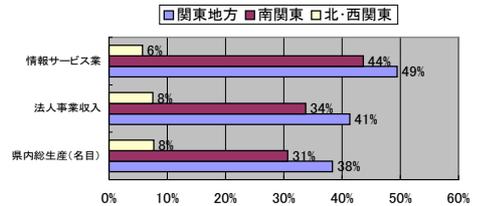
- ・北・西関東は、地域連携を進めるとともに地域の資源や独自性を活かした産業の育成が課題

南関東地方は、過度の集中による弊害を克服し魅力ある都市圏を目指す地域

- ・南関東は、業務核都市や東京圏周辺の中核都市との広域的な連携や機能分担が課題



関東地方の経済集積



高齢者数と増加率 (1998年の高齢者数を100とした場合)



関東地方の目指すべき方向と重点プロジェクト

<都市構造の再編と活力ある地域づくり>

- 分散型ネットワーク構造への都市構造の再編
- 東京湾臨海都市のリノベーション
- 地方拠点都市を中心に自立性の高い地域の形成
- 首都圏における多核的な都市構造の再編
- 道路・鉄道・空港・港湾ネットワークの充実、国際競争力の強化

<生き生きとしたまち・地域づくり>

- 中心市街地の活性化の推進
- 職住近接(都心居住)を図る拠点整備の推進
- 生活交通の確保とバリアフリー化の推進

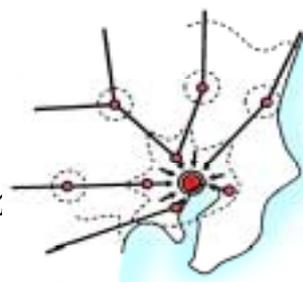
<誰もが安全に安心して暮らせる地域づくり>

- 首都機能の基盤を形成する治水施設の整備
- 安定した水資源確保のための水資源開発
- 広域的な情報ネットワーク基盤の整備と活用
- 東京湾海上交通・沿岸域の安全の確保

<よりよい環境の保全と創造を目指す地域づくり>

- 良好な河川環境の保持と水質の改善
- 循環型社会の形成に向けた取り組み
- 沿道環境の改善とディーゼル車排ガス対策の推進
- 公園整備による緑地環境の提供

現状の姿＝一極依存構造



将来の姿＝分散型ネットワーク構造



首都機能の基盤形成



常陸那珂港との関連事業



自然環境の保全



明治00年記念事業の一環として、武蔵野の面影を残す豊富な緑を保全した全国で第一号の国営公園